(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3120532号
(U3120532)
(45)発行日　平成18年4月6日(2006.4.6)　(24)登録日　平成18年3月15日(2006.3.15)

(51)Int.Cl.　F I
A01K 1/015 (2006.01)　A01K 1/015 A

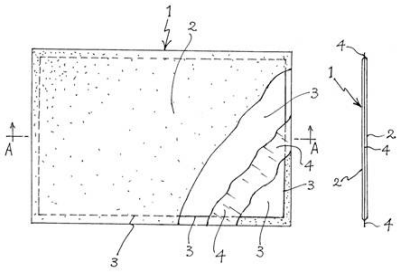
評価書の請求 未請求　請求項の数 2　OL　(全 9 頁)

(21)出願番号　実願2006-326(U2006-326)
(22)出願日　平成18年1月19日(2006.1.19)

(73)実用新案権者　597074170
ポンポリース株式会社
東京都目黒区目黒本町６－１９－１４
(74)代理人　100070002
弁理士　川崎　隆夫
(72)考案者　加藤　修
東京都品川区小山５丁目６番９号

(54)【考案の名称】ペット用両面吸水トイレシート

(57)【要約】　(修正有)
【課題】不潔な状態の掃除が容易で、床面等の汚れ臭気等が落ちなくなることがない。
【解決手段】何れも長方形その他適宜形状の略同形同大のシート状に形成した、通水性不織布シート２、吸水ポリマーシート３若しくは外周辺用吸水ポリマーシート３ａ、防水性プラスチックフイルム４、吸水ポリマーシート３、通水性不織布シート２を、この順に５層に積層し、それを加熱溶着、接着剤等の適宜の接着手段で一体的に接着して１枚のシート状に構成したものであり、防水性プラスチックフイルム４による防水層を中心として、その表裏両面に通水性不織布シート２及び吸水ポリマーシート３若しくは外周辺用吸水ポリマーシート３ａによる吸水層を備えた。
【選択図】図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
何れも長方形その他適宜形状の略同形同大のシート状に形成した、通水性不織布シート、吸水ポリマーシート、及び防水性プラスチックフイルムを、
通水性不織布シート、吸水ポリマーシート、防水性プラスチックフイルム、吸水ポリマーシート、通水性不織布シートの順に積層し、その積層したものを加熱溶着、接着剤等の適宜の接着手段で一体的に接着して１枚のシート状に構成したものであり、防水性プラスチックフイルムによる防水層を中心として、その表裏両面に通水性不織布シート及び吸水ポリマーシートによる吸水層を備えたものである、
ペット用両面吸水トイレシート。
【請求項２】
何れも長方形その他適宜形状の略同形同大のシート状に形成した、通水性不織布シート、吸水ポリマーシート、防水性プラスチックフイルム、及び前記吸水ポリマーシートと外形が同形同大で、設定幅の外周辺部分を残し、その内側部分が無いドーナッツ状の外周辺用吸水ポリマーシートを、
通水性不織布シート、外周辺用吸水ポリマーシート、防水性プラスチックフイルム、吸水ポリマーシート、通水性不織布シートの順に積層し、その積層したものを加熱溶着、接着剤等の適宜の接着手段で一体的に接着して１枚のシート状に構成したものであり、防水性プラスチックフイルムによる防水層を中心として、その表面側に通水性不織布シート及び吸水ポリマーシートによる吸水層を備えると共に、裏面側に通水性不織布シート及び外周辺用吸水ポリマーシートによる外周辺用の吸水層を備えたものである、
ペット用両面吸水トイレシート。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
近時、ペット（犬、猫）は多くの場合、室内・屋内で飼育されているが、そのペットの糞尿の処理は飼主にとって大きな問題であり、その対策、特に尿対策として市販の「トイレシート」を使用することが広く一般的に行なわれている。
【０００２】
図７は該トイレシートの正面図、及び、右側面図、図８は図７のＤ-Ｄ線矢視一部拡大断面図である。
該トイレシート１０１は、通例、長方形の薄く通水性の不織布１０２とシート状の吸水ポリマー１０３、及び防水性プラスチックフイルム１０４を積層し、これら３者１０２、１０３、１０４を加熱溶着、接着剤等の適宜の接着手段で一体的に接着して１枚のシート状に構成したものであり、防水性プラスチックフイルムによる防水層の表面側に通水性不織布シート及び吸水ポリマーシートによる吸水層を備えたものである。
【０００３】
上記トイレシートは、ペットのトイレ用プラスチックトレイ、ベット、カドラー、小屋、若しくは、トイレと決めている床その他の場所に敷いて置き、主としてペットの尿を吸収、保持させてそれらの場所及びその周辺を糞尿で濡らしたり汚したりしないようにする目的で使用しているものである。
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００４】
上記従来のトイレシートは、その用済み後、その臭気、外観等からして、すぐに廃棄せざるを得ない「使い捨て」方式のものであり、毎日、複数枚使用（犬種の大小に伴うシート寸法の大小によるが１枚数十円～百数十円）するため、飼主にとって相当な経済的負担となっている。
【０００５】
然して、特に、ペット（犬）は、多くの場合、尿を種々の場所や物のカド・スミ部分やキ

ワ・ヘリ部分にする習性が有るため、上記トイレシート上やトイレにするようにペットをよく躾けて、トイレシートを用いた場合でも、また、トイレシートに充分広い面積や充分な吸水性があっても、その中に放尿せずに、わざわざトイレやトイレシート等の角・隅部分や際（きわ）・縁部分に放尿してしまう場合が多く、

【０００６】

そのため、トイレシートを使用している場合でも、尿が該トイレシートの周辺の床面等（フローリング床、カーペット、畳、ベランダ床等）を濡らし汚してしまい、更にトイレシートの下面即ち不吸水性の防水性プラスチックフイルムと床面などの間に拡がってしまって、トイレシートを剥がすと、それらの下面と床面等の両方がビジャビジャに濡れてしまっていることが多く、

その度に、飼主は、汚く不潔な状態の掃除が非常に大変である上に、それが度重なると床面等の汚れ、臭気等が洗浄等しても容易に落ちなくなってしまうという、極めて重大な課題があった。

【課題を解決するための手段】

【０００７】

そこで、本考案は、何れも長方形その他適宜形状の略同形同大のシート状に形成した、通水性不織布シート、吸水ポリマーシート、及び防水性プラスチックフイルムを、

【０００８】

通水性不織布シート、吸水ポリマーシート、防水性プラスチックフイルム、吸水ポリマーシート、通水性不織布シートの順に積層し、その積層したものを加熱溶着、接着剤等の適宜の接着手段で一体的に接着して１枚のシート状に構成したものであり、

【０００９】

防水性プラスチックフイルムによる防水層を中心として、その表裏両面に通水性不織布シート及び吸水ポリマーシートによる吸水層を備えたものである、ペット用両面吸水トイレシートによって課題を解決したものである。

【００１０】

また、本考案は、何れも長方形その他適宜形状の略同形同大のシート状に形成した、通水性不織布シート、吸水ポリマーシート、防水性プラスチックフイルム、及び前記吸水ポリマーシートと外形が同形同大で、設定幅の外周辺部分を残し、その内側部分が無いドーナッツ状の外周辺用吸水ポリマーシートを、

【００１１】

通水性不織布シート、外周辺用吸水ポリマーシート、防水性プラスチックフイルム、吸水ポリマーシート、通水性不織布シートの順に積層し、その積層したものを加熱溶着、接着剤等の適宜の接着手段で一体的に接着して１枚のシート状に構成したものであり、

【００１２】

防水性プラスチックフイルムによる防水層を中心として、その表面側に通水性不織布シート及び吸水ポリマーシートによる吸水層を備えると共に、裏面側に通水性不織布シート及び外周辺用吸水ポリマーシートによる外周辺用の吸水層を備えたものである、ペット用両面吸水トイレシートによって課題を解決したものである。

【考案の効果】

【００１３】

従来のトイレシートの場合は、ペット（犬）が尿を種々の場所や物のカド・スミ部分やキワ・ヘリ部分にする習性が有るため、わざわざトイレやトイレシート等のカド・スミ部分やキワ・ヘリ部分に放尿してしまう場合が多く、よって、尿がトイレシートの周辺の床面等（フローリング床、カーペット、畳、ベランダ床等）を濡らし汚してしまい、更にトイレシートの下面即ち不吸水性の防水性プラスチックフイルムと床面等の間に拡がってしまって、

トイレシートを剥がすと、それらの下面と床面等の両方がビジャビジャに濡れてしまっていることが多く、その度に、飼主は、汚く不潔な状態の掃除が非常に大変である上に、それが度重なると床面等の汚れ、臭気等が洗浄等しても落ちなくなってしまうという、極め

て重大な課題があったが、
【００１４】
その点、本考案ペット用トイレシートは、その表裏両面に吸水層を備えたものであるため、ペットの放尿がそれらのカド・スミ部分やキワ・ヘリ部分から外れて周辺の床面（フローリング床、カーペット、畳、ベランダ床等）を濡らし汚してしまった場合でも、裏面（床面等）側の吸水層がそれらの尿を効果的に吸保水等するため、床面等を濡らし汚すことがなく、
よって、飼主の掃除も殆ど不要若しくは極めて簡単である上に、従来のように度重なる濡れ汚れで床面等の汚れ、臭気等が落ちなくなる恐れも無くし得る、極めて革新的な効果がある。
【００１５】
また、表面側に吸水層を備えると共に、裏面側に外周辺用の吸水層を備えた本考案ペット用トイレシーの場合も、上記と同様に、ペットの放尿がそれらのカド・スミ部分やキワ・ヘリ部分から外れて周辺の床面（フローリング床、カーペット、畳、ベランダ床等）を濡らし汚してしまった場合に、
裏面（床面等）側の外周辺用の吸水層がそれらの尿を効果的に吸保水等するため、床面（フローリング床、カーペット、畳、ベランダ床等）を濡らし汚すことがなく、
よって、飼主の掃除も殆ど不要若しくは極めて簡単である上に、従来のように度重なる濡れ汚れで床面等の汚れ、臭気等が落ちなくなる恐れも無くし得る、極めて革新的な効果がある。
【００１６】
そして、裏面側に外周辺用の吸水層を備えた場合も、ペットの放尿が汚すのがトイレシートのカド・スミ部分やキワ・ヘリ部分であるため、裏面側の外周辺に吸水層を備えてあれば、吸水の作用効果の点で表裏両面に吸水層を備えたものと同様の作用効果を発揮することができると共に、トイレシート全体の価格の大半を占めている高価な素材である吸水ポリマーシートの使用面積を格段に節減して、表裏両面に吸水層を備えたものに比して格段にコスト低下をし得る効果がある。
【考案を実施するための最良の形態】
【００１７】
何れも長方形その他適宜形状の略同形同大のシート状に形成した、通水性不織布シート、吸水ポリマーシート、及び防水性プラスチックフイルムを、
【００１８】
通水性不織布シート、吸水ポリマーシート、防水性プラスチックフイルム、吸水ポリマーシート、通水性不織布シートの順に積層し、その積層したものを加熱溶着、接着剤等の適宜の接着手段で一体的に接着して１枚のシート状に構成したものであり、
【００１９】
防水性プラスチックフイルムによる防水層を中心として、その表裏両面に通水性不織布シート及び吸水ポリマーシートによる吸水層を備えたものである、ペット用両面吸水トイレシート。
【実施例１】
【００２０】
図１は本考案実施例１の正面図、及び、右側面図、図２は図１のＡ－Ａ線矢視一部拡大断面図である。
【００２１】
本考案の実施例１につき説明すると、何れも長方形その他適宜形状の略同形同大のシート状に形成した、通水性不織布シート２、吸水ポリマーシート３、及び防水性プラスチックフイルム４を、
【００２２】
通水性不織布シート２、吸水ポリマーシート３、防水性プラスチックフイルム４、吸水ポリマーシート３、通水性不織布シート２の順に積層し、その２、３、４、３、２の５層に

積層したものを加熱溶着、接着剤等の適宜の接着手段で一体的に接着して１枚のシート状に構成したものであり、防水性プラスチックフイルム４による防水層を中心として、その表裏両面に通水性不織布シート２及び吸水ポリマーシート３による吸水層を備えたものである、ペット用両面吸水トイレシート１である。

【実施例２】

【００２３】

図３は本考案実施例２の正面図、及び、右側面図、図４は図３のＢ-Ｂ線矢視一部拡大断面図、図５外周辺用吸水ポリマーシートの正面図、及び、右側面図、図６は図５のＣ－Ｃ線矢視一部拡大断面図である。

【００２４】

本考案の実施例２につき説明すると、何れも長方形その他適宜形状の略同形同大のシート状に形成した、通水性不織布シート２、吸水ポリマーシート３、防水性プラスチックフイルム４、及び前記吸水ポリマーシート３と外形が同形同大で、設定幅の外周辺部分５を残し、その内側部分６が無いドーナッツ状の外周辺用吸水ポリマーシート３ａを、

【００２５】

下から、通水性不織布シート２、外周辺用吸水ポリマーシート３ａ、防水性プラスチックフイルム４、吸水ポリマーシート３、通水性不織布シート２の順に積層し、その２、３ａ、４、３、２の５層に積層したものを加熱溶着、接着剤等の適宜の接着手段で一体的に接着して１枚のシート状に構成したものであり、防水性プラスチックフイルム４による防水層を中心として、その表面側に通水性不織布シート２及び吸水ポリマーシート３による吸水層を備えると共に、裏面側に通水性不織布シート２及び外周辺用吸水ポリマーシート３ａによる外周辺用の吸水層を備えたものである、ペット用両面吸水トイレシート１ａである。

【００２６】

本考案実施例ペット用両面吸水トイレシートのサイズは、従来例と略同様に設けるものであり、その１例を示せば、３３ｃｍ×４３ｃｍ位である。

【産業上の利用可能性】

【００２７】

本考案は、その表裏両面に吸水層を備えた特性によって、上記のようなペット用両面吸水トイレシートとしての外、例えば、ペットのシャンプー後や、雨の日の散歩後の濡れ防止用シートとして、ペットのランチシート、水飲みシート、室内等の犬舎やサークルの汚れ防止シートとして、ペット同行の車のシートカバーやアウトドア用シートとして最適な両面吸水シートを提供し得るものである。

【００２８】

特に、近時大きな社会問題になりつつある、老齢・病気等で要介護・看護のペットの介護・看護等用の両面吸水シーツとしても極めて便利に利用し得るものである。

【図面の簡単な説明】

【００２９】

【図１】本考案実施例１の正面図、及び、右側面図。

【図２】図１のＡ－Ａ線矢視一部拡大断面図。

【図３】本考案実施例２の正面図、及び、右側面図。

【図４】図３のＢ-Ｂ線矢視一部拡大断面図。

【図５】実施例２の外周辺用吸水ポリマーシートの正面図、及び、右側面図。

【図６】図５のＣ－Ｃ線矢視一部拡大断面図。

【図７】従来のトイレシートの正面図、及び、右側面図。

【図８】図７のＤ-Ｄ線矢視一部拡大断面図。

【符号の説明】

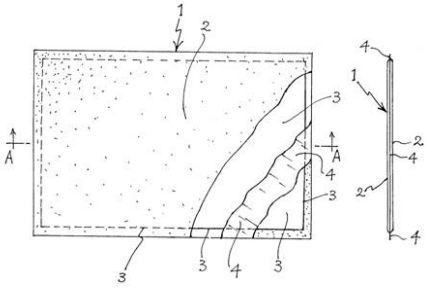
【００３０】

１　ペット用両面吸水トイレシート（実施例１）

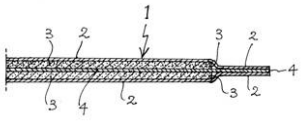
１ａ　ペット用両面吸水トイレシート（実施例２）

２　　通水性不織布シート
３　　吸水ポリマーシート（実施例１）
３ａ　外周辺用吸水ポリマーシート（実施例２）
４　　防水性プラスチックフイルム
５　　外周辺部分
６　　内側部分
１０１　従来のトイレシート
１０２　通水性不織布シート
１０３　吸水ポリマーシート
１０４　防水性プラスチックフイルム

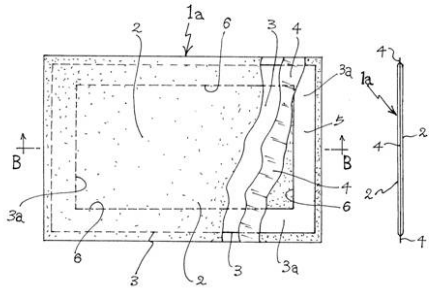
【図１】



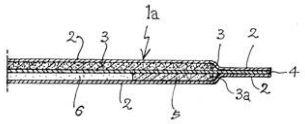
【図２】


1
3
2
3
2
4
3
4
2
3
2

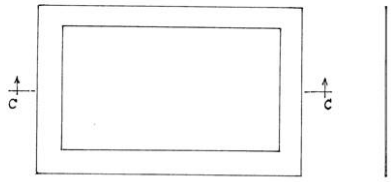
【図３】


1a
2
6
3
4
3a
4
1a
2
B
B
5
4
6
3a
6
3
2
3
3a
4
2
4

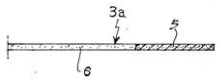
【図４】


1a
2
3
3
2
4
6
2
5
3a
2

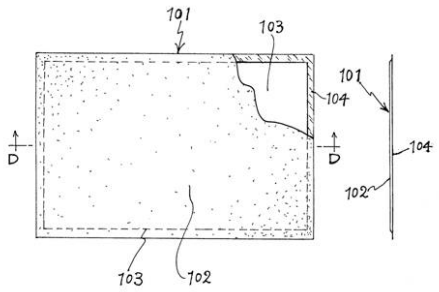
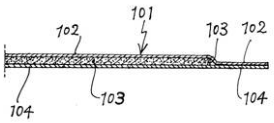
【図５】



【図６】



【図７】



【図８】